



置かれた場所で咲く

校長 板見 剛
副校長 森 敏樹（作成）

『熟考の冬休み』

～2学期の成長・課題しっかりとらえ、3学期はどんな自分になりたいかを深く考える～

【生徒の皆さんへ】

明日からの冬休みは、短い期間に様々なイベントや年中行事があるため、あっという間に終わる印象があることでしょう。

この時期は、新しい年の節目でもあります。年が明けると、1・2年生は締めくくりの3学期。3年生は受験・卒業が控えています。これまで、反省や後悔が多かったという人は、このタイミングに歯止めをかけ、新たな気持ちで確かな一歩を踏み出したいものです。

そこで、『これまで（2学期・今年）の自分を振り返り、これから（3学期・来年）の自分はどうかりたいか』に思いを巡らす『熟考』の14日間となることを期待します。題名にある「熟考」（じゅっこう）とは、「十分によく考える」という意味がです。一旦は、メディアから距離を置き、普段より時間をかけて、自分のこれまでのこと、これからのことにより深く思いを巡らせてみましょう。

さて、長中生の大事なキーワードは、「主体性」です。学校では、生徒一人一人が、自分で十分に考え、自分で正しく判断し、適切な行動ができるようになることを目指しています。

学習面で言えば、「見通しをもって学習に取り組むこと」、「自分の苦手克服に向け、時間と学習内容を調整しながら取り組むこと」があげられます。そこに、親や先生の「きちんと取り組んでいるのか?」、「しっかりやりなさい」などの声かけはありません。

「これくらいのこと自分ですべてできている」と誰もが思いがちです。ただ、意外とできていないこともあります。その一つ一つが、誰の手を借りることなく自分でできてこそ、『自立（じりつ）した自分』へと成長をとげていると言えます。その姿は、保護者・地域の方・先生たちが、待ち望む姿です。14日後から始まる3学期。そんな姿を目指し、努力に励む皆さんと、1月8日の始業式で会えることを楽しみにしています。

【保護者の皆さんへ】

ご承知のとおり、中学校卒業は義務教育の修了。18歳になると成人を迎えます。近い将来に訪れる独り立ちの時に向け、保護者の皆さんや我々身近な大人（地域の方や教職員）の手を借りることなく、確かな成長を遂げることを願っていることと思います。

学校生活において、4月からここまでを振り返っても、気になる状況の改善は随分図られています。授業や学校生活も、落ち着いた雰囲気が増えました。あと一歩のところまで来ているのが、遅刻、学習課題等の提出期限を守るといったことです。以前お伝えした通り、ご家庭の見守りもあり、SNSをめぐるトラブルは、減少しています。

引き続き、指導していきますが、生徒の自覚ある判断と行動、そして自制心で、乗り越えさせたいところです。前述のとおり、長与中学校では、自分で十分に考え、自分で正しく判断し、適切な行動ができるようになる「主体性を育むこと」が大切と捉えています。

途中経過ではありますが、先日、保護者の皆さんに実施した学校評価においても、「子どもは、目標や目的意識をもち、何事にも主体的に取り組んでいる」の項目において、肯定的な意見（4・3の割合）が71.5%と各ご家庭でも意識して、育てていただいていることがうかがえました。

改めて、家庭・地域・学校が一枚岩になって、さらなる主体性の育成に当たることができればと考えております。厳しくも温もりのある見守りと、周囲の大人たちからの的確なアドバイスを心がけていければと考えています。今年1年、本校の教育活動に多大なご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございました。来年もどうぞよろしくお願いいたします。

～生徒の生命と安全を守るために～

県外で未成年者が被害者となった事件や自転車運転による死亡事故も報道されています。不慮の事件・事故に巻き込まれることがないように、不要の外出は避けるとともに、外出の際は、外出先・帰宅時間の把握、確実な連絡手段等、安全・安心に過ごすことができるよう、親子間での確実な確認をお願いします。

また、本日、各ご家庭に「冬休みの生徒の生命と安全を守るための家庭へのお願い」を配付しました。最近の報道では、「闇バイト」、「不適切動画の閲覧」等、未成年者が巻き込まれるケースもあるようです。

これらの事件・事故に巻き込まれないためにも、定期的な使用状況の確認に加え、今一度、家庭内で、健全かつ適切な使用について、話し合う機会をもっといただければと思います。

『お互いの人権を守ることの大切さ』を 学んだ「長与中人権集会」

10月末から、各クラスの人権平和実行委員が中心となって準備を進めてきました。実行委員は、集会に向けた事前のアンケートや朝の読み聞かせ、人権意識アンケートの集計・分析、発表の準備等、今回の「長与中学校の人権学習」は、委員全員の頑張りがとても大きかったと思います。これらの頑張りと併せ、教師の「人権をより深く学び、考えるための授業」が行われ、さらに、一人一人の生徒が「人権について考える機会」をもつことができました。

こうやって迎えた12月10日の「人権集会」当日。事前に行われた「アンケート結果の発表」が行われました。「今まで友達に言われたり、されたりしたことでもちょっと嫌だったことはありますか？」という質問に対し、1・2年で3～4割。3年生で5割を超える生徒が「ある」と答えました。その後、言われて「嫌だ」と感じたことが発表されました。逆に、言われて「うれしかった」こと。良い友人関係を作るために大切なことも、生徒アンケートの回答として紹介されました。今回のアンケートは、生徒全員が関わった分、皆が食い入るようにしてスクリーンを見ていました。「今後、お互いに嫌な思いをしないため、対人関係をよくするヒント」がみんなの声として寄せられ、参加した全員で共有できたことはとてもよかったと思います。このとき、各学年の意見として紹介された「良い友人関係を作るために大切なこと」を一部紹介します。



- ・相手のことを考える
- ・感謝を伝える
- ・尊重しあう
- ・コソコソせずにはっきりと
- ・自分ばかりを優先しない
- ・相手を信用する
- ・悪いと思ったらすぐに謝る
- ・平等に接する
- ・嘘をつかない
- ・聞く耳をもつ
- ・思いやる
- ・相手の立場になる
- ・ルールやマナー
- ・平等に接する
- ・程よい距離感

実行委員の読み語りのあと、「長与中人権宣言」を発表しました。参加した全員が書いた事後アンケート「自分ができること・誰かのよいおこない」は、分量も多く、読み応えがありました。

そして今回の人権学習で、深い学びが得られたことが、十分にうかがえました。このアンケートは、校内の大型モニターで、紹介する予定です。

ここでもまた、思いを分かち合い、お互いを思いやることのできる温もりのある雰囲気づくりにつながることおおいに期待するところです。

ご家庭でも、ぜひ「人権の大切さ」について、話題にしていただけるとありがたいです。

長与中人権宣言

- 前文 私たちは仲間です。笑顔で生活する権利はみんなにあります。互いに感謝と尊敬をもって関わります。
- 第1条 自分の気持ちも相手の気持ちも大切にします。
- 第2条 みんなで話し合うことを大切にします。
- 第3条 一人一人の個性を大切にします
- 第4条 相手のことを考え、思いやりをもって行動します
- 第5条 自分の行動と言葉に責任をもちます
- 第6条 人権を、平和を学び続けます

～部活動の結果・個人表彰～

- 【ラグビー】県中総体新人大会 優勝
- 【バレー】郡中総体新人大会 男子：優勝、女子：優勝
- 【俳句】長与町図書館まつり 特選：3年宮本、入選：1年中島
- 【書道】JA小中学生書道コンクール 条幅の部 佳作：2年吉田、銅賞：2年吉田、高比良、磯部
- 【標語】社会を明るくする運動 入選：2年石橋
- 【家庭科】全国ものづくりコンクール長崎県代表作品選考会 優秀賞：2年田平
- 【税の作文】長崎税務署長賞：3年吉岡 長与町長賞：3年草野 長与町教育長賞：3年小川
- 【絵画】第19回長崎県中学校総合文化祭 絵画の部 3年野中

～NSC（本校生徒関係）の結果～

- 【弓道】全国中学校弓道大会団体競技女子の部 5位
県中学校弓道新人大会女子団体準優勝、3位 男子団体3位
- 【バドミントン】県中学生チャレンジカップ男子団体 準優勝